

都市再生整備計画 事後評価シート
豊洲地区

平成28年3月

東京都江東区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	江東区	地区名	豊洲地区			面積	246ha			
交付期間	平成24～27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	5,639.8百万円	国費率	0.369					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業	道路事業(特別区道江257号)、地域生活基盤施設(自転車駐車場(豊洲駅前)、防災倉庫(豊洲シビックセンター内)、高質空間形成施設(豊洲五丁目新防潮堤照明施設)、高次都市施設(文化センター(豊洲シビックセンター内))										
	提案事業	地域創造支援事業(区立図書館の整備、豊洲運河潮風の散歩道整備)、事業活用調査(コミュニティサイクルの検討・評価、事後評価調査)、まちづくり活動推進事業(環境まちづくり協議会運営等委託)										
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	基幹事業	道路事業(特別区道江52号)		工事の進捗に伴い事業内容を精査した結果、区単独費での施工としたため交付対象事業から削除。		区単独費で実施しているため、指標及び目標は据え置く。						
	提案事業	まちづくり活動推進事業(水辺のまちづくり活動支援)		事業進捗から区単独費での支援を行うこととして、交付対象事業から削除。								
新たに追加した事業	基幹事業	-		-		-						
	提案事業	-		-		-						
交付期間の変更	当初	平成24～27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
	変更	-		-		-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	豊洲文化センターにおける各種事業実施回数	回/年	363	H22	400	H27	600	○	あり なし	区民に身近なサービスを提供する複合施設として整備を行ったことで、各種事業実施回数が増加した。	平成28年10月
	指標2	豊洲駅周辺の放置自転車台数	台	144	H22	96	H27	63	○	あり なし	増加する自転車需要に対応するため、豊洲駅交通広場の地下に自転車駐車場を整備し、その結果放置自転車数が減少した。	-
指標3	東京メトロ有楽町線豊洲駅の1日平均乗降人員数	人/日	138,876	H22	170,000	H27	192,000	○	あり なし	豊洲駅周辺の開発や区道の緑化、コミュニティサイクルの導入等によって、多くの人が住み、働き、訪れるまちの発展につながり、有楽町線豊洲駅の乗降人員が増加した。	平成28年10月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	豊洲地区における避難所・避難場所の認知度	%	66.1	H22	/	/	72.3	/	/	H23年の東日本大震災後、防災意識の高まりが見られたものの、近年の新住民の増加に伴い地区内の避難所・避難場所の認知度が低下していた。そのような状況の中、豊洲シビックセンター整備等、防災面での機能強化が図られたことで、再度、認知度が向上している。	平成28年10月	
4) 定性的な効果発現状況	潮風の散歩道は、散歩やジョギング等のルートとして多くの住民に利用されており、実際に“整備されて良かった”との声が寄せられている。											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等		
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-		
	住民参加プロセス	豊洲シビックセンターの機能等に関する懇談会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						●	施設の運営においても区民の意見を聞きながら利用促進を図る。	
持続的なまちづくり体制の構築	(提案事業) 環境まちづくり協議会運営等委託		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						●	エリアマネジメント組織の立ち上げを目指し、地域住民と共に取り組みを継続する。		

様式2-2 地区の概要

豊洲地区(東京都江東区)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 水とみどり豊かな環境が共生した魅力的な複合市街地の形成 小目標① 文化や交流などの活動が活発におこなわれる、にぎわいのあるまちづくり 小目標② 多様な人々が安全安心で便利に活動できるまちづくり 小目標③ 水やみどりなどを生かした、人や環境にやさしいまちづくり	豊洲文化センターにおける各種事業実施回数	単位:回/年	363 H22	400 H27	600 H27
	豊洲駅周辺の放置自転車台数	単位:台	144 H22	96 H27	63 H27
	東京メトロ有楽町線豊洲駅の1日平均乗降人員数	単位:人/日	138,876 H22	170,000 H27	192,000 H27
	豊洲地区における避難所・避難場所の認知度	単位:%	66.1 H22	-	-



まちの課題の変化	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による市街地再開発事業によって豊洲シビックセンターを整備したことで、豊洲駅周辺の拠点性が向上した。 ・豊洲文化センターの整備により、地元及び一般の団体・個人の利用者やイベントが増加し、文化・交流活動が活発に行われている。 ・特別区道江257号の整備により、高齢者や視覚障害者、車いす利用者等を含む全ての歩行者にとって安全で円滑に移動が可能な歩行空間が創出された。 ・防災倉庫の整備により、災害時の住民や帰宅困難者等への対応向上が図られた。 ・自転車駐車場の拡充整備により、歩道上の安全で利便な通行や緊急時における避難空間が確保された。 ・コミュニティサイクルの実証実験により、周辺地域へのアクセス向上や、点在する集客施設への移動手段が整備された。 ・まちづくり協議会による活動が活発化している。 ・豊洲運河潮風の散歩道が整備され、遊歩道利用時の安全性、利便性が向上した。
	残された未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・豊洲埠頭における民間活力による新たな土地利用の促進が必要である。 ・一部、歩道上や公開空地に放置自転車が残されている箇所がある。 ・豊洲運河周辺は遊歩道の未整備箇所が残されている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊洲文化センターが文化・交流の場として定着するよう、区民の意見を取り入れながら活動の継続実施・拡充を図る。 ・防災パンフレット等の作成・配布及び総合防災訓練等の実施による啓発活動を推進し、区民の防災に対する意識高揚を図る。 ・地域内での救助・救済体制の整備を促進する。 ・住民や企業が主体となるまちづくりを推進するため、環境まちづくり協議会の取組を継続する。 ・豊洲埠頭の低未利用地における土地利用について検討を進める。 ・豊洲運河の護岸上部の遊歩道整備済み区間の維持管理と、未整備箇所の整備を継続して進める。 ・放課後や休日に子どもたちが安心して過ごし、遊ぶことができる場として学童クラブを整備する。 ・自転車駐車場の整備や放置自転車の撤去を進めるとともに、自転車利用者等のルール、マナーの継続的な普及・啓発を図る。 ・整備済みの自転車駐車場やコミュニティサイクルの更なる利用促進を図る。 	